

イベント案内

春まつり

(4月下旬頃)

官庁街通りと中央公園周辺を会場に開催されます。期間中は、市役所展望テラスが開放され、桜とアートのコラボレーションや、夜間ライトアップなど、この時期だけの十和田の景色が楽しめます。



夏まつり花火大会

(8月14日)

全国的にも珍しい市街地の中心部で打ち上げられる花火大会です。当日は陸上競技場に観覧席が設けられ、官庁街通り歩道には、多くの露店が並び、賑わいを見せます。



秋まつり

(9月上旬頃)

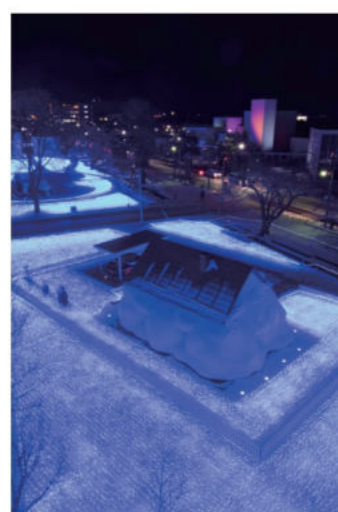
十和田市最大のおまつりです。中日の土曜日には、官庁街通りを会場として山車の夜間運行や十和田囃子競演会などが行われ、豪華絢爛な山車や見事なパチさばきの演奏が楽しめます。



アーツ・トワダ ウィンターイルミネーション

(12月中旬～)

青色LEDが光のじゅうたんのようにアート広場全体を覆いつくし、幻想的な世界を演出します。さまざまなアート作品が昼間とは違った表情を見せ、訪れる人々を魅了します。



十和田市 市街地案内 | TowadaCity Area Guide Map



まちなかアート

彫刻・石碑等



官庁街通り(愛称：駒街道)

官庁街通りは、碁盤目状に整然と区画された街並みの中で、ひととき美しい十和田市のシンボルロードです。馬産地であった十和田市には、旧陸軍軍馬補充部が設置されていました。戦後もなく軍馬補充部用地が開放された際、官公庁用地として整備されたもので、道の両側には、国・県・市の官庁が並び、都市計画法の事務所地区に指定されています。長さ1.1km、幅36mの道には、桜と松が4列の並木をつくり、春には桜、冬にはイルミネーションが彩りを添えます。歩道両側には、それぞれ奥入瀬溪流・稲生川をイメージした水の流れや馬のオブジェが配置されているほか、歩道南側には、161点の短歌、俳句、川柳作品の石彫板が埋められており、歩きながら文化や芸術を楽しめる空間です。また、まつりやイベント会場として常に市民に親しまれていることが理由となって、昭和61年「日本の道・100選」に選ばれました。



Arts・Towada (アーツ・トワダ)

官庁街通り全体をひとつの美術館に見立て、多様なアートを展開することで、多くの人々が楽しみ交流する場を作り出すという「アートによるまちづくりプロジェクト」です。街なかには、たくさんのストリートファニチャーや有名建築家設計による建物が立ち並び、現代美術館を中心に、アートの世界が広がっています。

